



学校法人 白鷗大学

2020（令和2）年度

事業報告書



白鷗大学
HAKUOH UNIVERSITY

目 次

I.学校法人の概要

1.	建学の理念と沿革	1
2.	設置する学校	2
3.	法人組織図	3
4.	役員・教職員	4

II.事業の概要

1.	前年度事業の概要	5
2.	白鷗大学の基本計画	7
3.	白鷗大学足利高等学校の基本計画	12
4.	白鷗大学足利中学校の基本計画	13
5.	白鷗大学はくおう幼稚園の基本計画	14

III.財務の概要

1.	学校法人会計について	15
2.	2020 決算の概要	15

基礎データ	33
-------------	----

I. 学校法人の概要

1. 建学の理念と沿革

(1) 白鷗大学の建学理念を具現化する言葉～PLUS ULTRA（さらに向うへ）～



これは、大学創設者、上岡一嘉初代学長が、白鷗大学の記念すべき第1回卒業式(1990年)で建学の精神を卒業生に託すべく贈った言葉です。「高く広い視野に立って、たった一度の人生に情熱的にチャレンジして欲しい」というメッセージを具現化する言葉で、今では本学の建学の理念を表すスローガンとなっています。

(2) 建学の理念

本学の建学の理念は、次の4項目により表現されます。

1. 永久に新しい、また永久に若き情熱の学府として、二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献する。
2. 激変する国際社会において、現状を的確に見定めるとともに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、考え、行動できる人材を養成する。
3. 本格的な高度情報化、国際化社会を迎え、二十一世紀の日本を担う中核として活躍できる人材を育成する。
4. 進んで異文化を積極的に研究すると同時に、最新の情報を的確に入手し、それらを活用できる体制を作り上げる。

(3) 沿革

1915	大正 4	上岡長四郎、足利裁縫女学校設立			
1927	昭和 2	財団法人足利高等家政女学校となる	1997	平成 9	白鷗大学女子短期大学部専攻科（経営）、白鷗大学足利高等学校商業科・家政科を廃科
1935	昭和 10	栃木県足利高等家政女学校と改称	1999	平成 11	白鷗大学大学院経営学研究科修士課程、法学研究科修士課程を設置
1947	昭和 22	学制改革により改編、足利家政中学校と改称	2001	平成 13	白鷗大学に経営学部ビジネスコミュニケーション学科を設置
1948	昭和 23	足利家政専門学校創設	2002	平成 14	白鷗大学女子短期大学部の英語科を廃科
1951	昭和 26	学校法人足利学園を設立	2004	平成 16	白鷗大学女子短期大学部専攻科（幼児教育専攻）を廃科 白鷗大学女子短期大学部附属幼稚園を白鷗大学はくおう幼稚園に名称変更 白鷗大学東キャンパス竣工 白鷗大学大学院法務研究科（法科大学院）を設置
1952	昭和 27	足利家政高等学校（女子普通、商業、家政）を設置			白鷗大学法学部の一部を東キャンパスに移転 白鷗大学に発達科学部発達科学科を設置
1954	昭和 29	足利家政中学校・高等学校・専門学校を足利学園中学校・足利学園高等学校・足利学園女子専門学校と改称	2005	平成 17	白鷗大学女子短期大学部の経営科・幼児教育科を廃科
1956	昭和 31	足利学園附属くるみ幼稚園開園	2006	平成 18	白鷗大学足利高等学校の設備工業科・建築科を廃科 白鷗大学女子短期大学部の幼児教育科第二部を廃科 白鷗大学女子短期大学部を廃止
1961	昭和 36	中学校を解消、新体制で足利学園中学校開校	2007	平成 19	白鷗大学発達科学部を教育学部に名称変更 白鷗大学教育学部に英語教育専攻、心理学専攻を設置 白鷗大学経営学部経営学科に経営専攻、ビジネスコミュニケーション専攻を設置
1962	昭和 37	足利学園高等学校に工業化学科を設置	2011	平成 23	白鷗大学足利中学校中高一貫教育コース設置
1965	昭和 40	足利学園高等学校に自動車科を設置	2012	平成 24	白鷗大学経営学部のビジネスコミュニケーション学科を廃科 白鷗大学足利高等学校の音楽科を廃科
1967	昭和 42	埼玉県越谷市に越谷くるみ幼稚園開園	2014	平成 26	白鷗大学足利高等学校の自動車科・英語科廃科
1969	昭和 44	足利学園女子専門学校、同幼稚園を学校法人上岡学園に移管、学校法人足利学園は高等学校(全日制)と中学校の2校に変更	2017	平成 29	白鷗大学大学院法務研究科（法科大学院）廃止 白鷗大学足利中学校中高一貫教育コース廃止
1971	昭和 46	足利学園高等学校に建築科を設置	2018	平成 30	法人事務所及び大学本部所在地を小山市大行寺から小山市駅東通りに移転すると共に、従来の東キャンパスを本キャンパス、本校舎を大行寺キャンパスに名称変更 経営学部を本キャンパスに移転
1974	昭和 49	栃木県小山市に白鷗女子短期大学（英語科・幼児教育科）を設置			
1976	昭和 51	白鷗女子短期大学幼児教育科第二部を設置 白鷗女子短期大学附属幼稚園を設置			
1980	昭和 55	白鷗女子短期大学に経営科を設置			
1981	昭和 56	足利学園高等学校に音楽科を設置			
1982	昭和 57	白鷗女子短期大学に経営科・幼児教育科の専攻科を設置			
1984	昭和 59	足利学園高等学校に英語科を設置、富田キャンパス竣工			
1986	昭和 61	栃木県小山市に白鷗大学（経営学部）を設置			
1989	平成元	足利学園高等学校に設備工業科を設置			
1990	平成 2	法人名を足利学園から白鷗大学に名称変更			
1991	平成 3	足利学園高等学校の工業化学科を廃科			
1992	平成 4	白鷗大学に法学部を設置			
1994	平成 6	足利学園高等学校・中学校を白鷗大学足利高等学校・中学校に名称変更 法人事務所所在地を足利市から小山市に移転			
1996	平成 8	白鷗女子短期大学、同附属幼稚園を白鷗大学女子短期大学部、同附属幼稚園に名称変更			

2. 設置する学校 (2021年4月1日現在)

(1) 法人本部所在地

学校法人白鷗大学：理事長 上岡 條二
 栃木県小山市駅東通り二丁目3番地5

(2) 各学校の長と所在地(住所)

白鷗大学：学長 北山 修
 (本キャンパス) 〒323-8586 栃木県小山市駅東通り2-2-2
 (大行寺キャンパス) 〒323-8585 栃木県小山市大行寺1117

白鷗大学足利高等学校：校長 大橋 芳樹
 (本校舎) 〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2
 (富田キャンパス) 〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067

白鷗大学足利中学校：校長 高久 哲史
 〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町4-3

白鷗大学はくおう幼稚園：園長 島村 志津夫
 〒323-0041 栃木県小山市大行寺1195

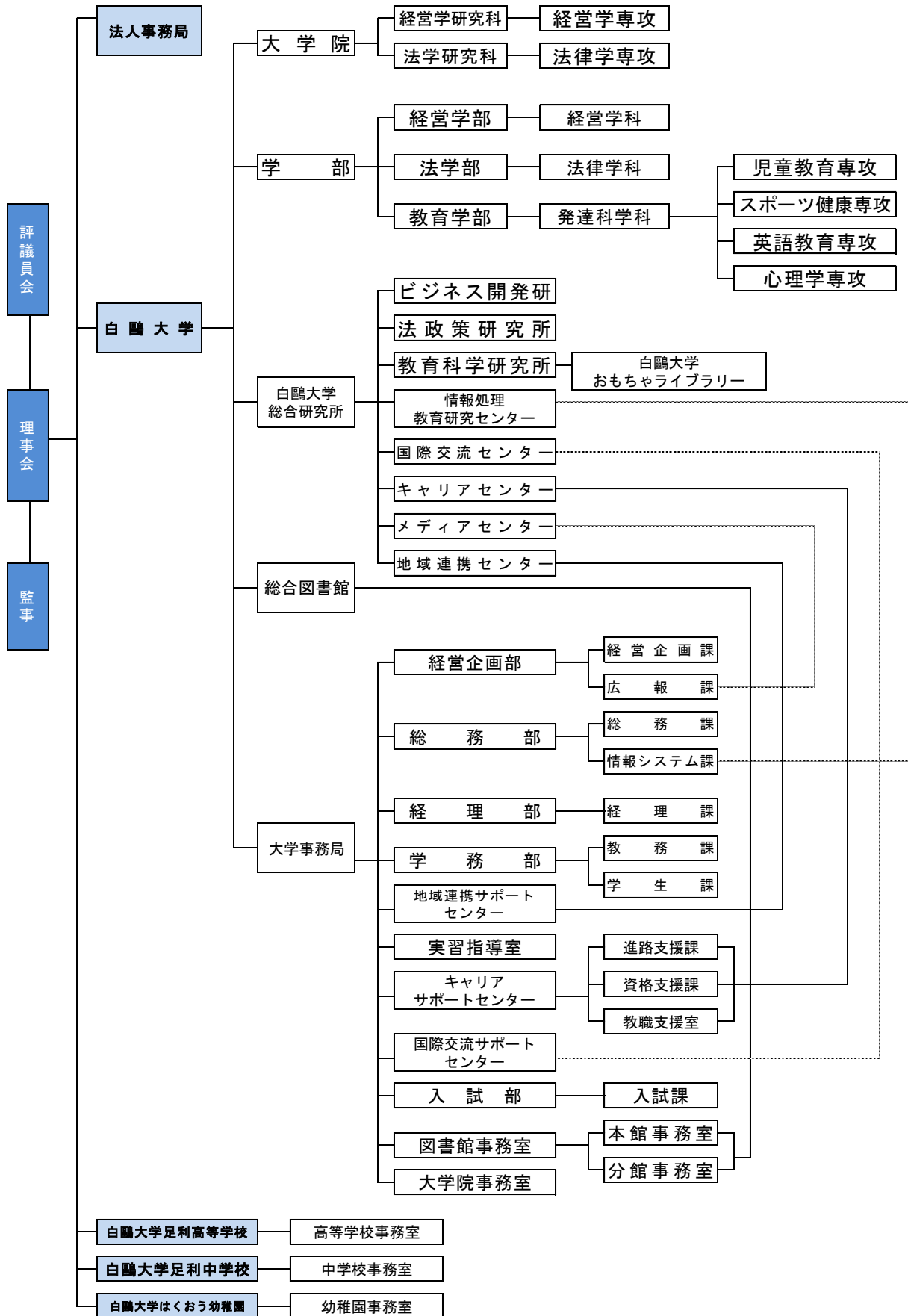
(3) 入学定員、現員 (2021年5月1日現在)

学校名		入学者数	1学年	2学年	3学年	4学年	合計	
白鷗大学	大学院	経営学研究科	1	1 (20)	0 (20)			1 (40)
		法学研究科	3	5 (10)	2 (10)			7 (20)
		大学院合計	4	6 (30)	2 (30)			8 (60)
		学部	経営学部 経営学科	470	470 (400)	463 (400)	455 (400)	529 (400)
	法学部 法律学科	313	313 (270)	303 (270)	306 (270)	330 (270)	1,252 (1,080)	
	教育学部 発達科学科	500	500 (430)	490 (430)	487 (430)	519 (430)	1,996 (1,720)	
	学部合計	1,283	1,283 (1,100)	1,256 (1,100)	1,248 (1,100)	1,378 (1,100)	5,165 (4,400)	
	白鷗大学足利高等学校	普通科	438	438 (950)	400 (950)	374 (950)		1,212 (2,850)
	白鷗大学足利中学校		46	46 (120)	44 (120)	49 (120)		139 (360)
	白鷗大学はくおう幼稚園		33 (年少クラスの 入園者のみ)	33 (40)	36 (50)	30 (50)		99 (140)
総合計		1,804	1,806 (2,240)	1,738 (2,250)	1,701 (2,220)	1,378 (1,100)	6,623 (7,810)	

学部学科等の上段は、5月1日現在の学生・生徒・園児数、下段()は各学年の入学定員

I. 学校法人の概要

3. 法人組織図 (2021年4月1日現在)



役員・教職員（2021年4月1日現在）

(1) 理事

定数	実数	選任区分・実数	
		1号理事	2
6~8	7	2号理事	3
		3号理事	2

理事長 上岡條二 理事 北山 修 大橋芳樹 江頭信弘 田才 晃（外部理事）
小林 喬（外部理事） 上岡寛子

以上(順不同)

(2) 監事

定数	実数	選任区分・実数	
		常勤	2
2~3	2	非常勤	0

監事 深見栄一 鈴木 正 以上(順不同)

(3) 評議員

定数	実数	選任区分・実数	
		1号評議員	6
15~18	18	2号評議員	3
		3号評議員	9

評議員 上岡條二 剣持磨奈 島村志津夫 大橋芳樹 高久哲史 渡邊博記 手束和正
笠原健一 大澤洋子 山本厚太郎 江頭信弘 岡部宣男 赤堀侃司 加藤澤男
田才 晃 藤井 健 ジェフリー ミラー ジョン モートン 以上(順不同)

(4) 教職員（2021年5月1日現在）

学校名	教員数			職員数			総合計		
	専任	専任以外	合計	専任	専任以外	合計	専任	専任以外	合計
白鷗大学	119	134	253	95	24	119	214	158	372
白鷗大学足利高等学校	85	52	137	23	8	31	108	60	168
白鷗大学足利中学校	16	5	21	1	7	8	17	12	29
白鷗大学はくおう幼稚園	8	4	12	0	1	1	8	5	13
総合計	228	195	423	119	40	159	347	235	582

※学長及び副学長は大学専任教員にてカウントしている。

※法人部門所属職員は、大学部門にてカウントしている。

(ただし同法人内への出向者は、出向先の部門にてカウントしている。)

※同法人内における兼務教職員は、それぞれの本務部門にてカウントしている。

II.事業の概要

1. 前年度事業の概要

(1) 各学校の学事年表

実施事業（当初予定から変更実施になった行事を含む）

2020年

4月 入学式（高等学校、中学校）・入園式
創立記念日（高等学校、中学校）
新入生オリエンテーションII（中学校）

5月 開学記念日

6月 職場体験（中学校）

7月 夏祭り（幼稚園）

8月 オープンキャンパス（大学）

9月 9月卒業式（大学）

白鷗WEBフォーラム①（大学）

10月 1年生保護者懇談会（大学）

体育祭（高等学校、中学校）

オープンキャンパス

（高等学校 富田キャンパス）

バス旅行（中学校・3年）

※修学旅行中止の代替

運動会（幼稚園）

11月 合唱祭（高等学校、中学校）
やきいもパーティー（幼稚園）
白鷗WEBフォーラム②（大学）

12月 おゆうぎ会（幼稚園）

2021年

1月 お楽しみ保育・おもちつき（幼稚園）

立志式（中学校）

2月 1日入園（幼稚園）

白鷗WEBフォーラム③（大学）

予餞会（中学校）

3月 新入生オリエンテーションI（中学校）

ひなまつり（幼稚園）

卒業式・卒園式

コロナ禍により当初予定から中止若しくは変更により実施できなかった事業

2020年

4月 入学式（大学）
朝食無料サービス（大学）

5月 スポーツ大会（大学）

6月 3年生保護者懇談会（大学）

オープンキャンパス（中学校）

職場体験（中学校）

7月 学習合宿（高等学校）

林間学校（中学校）

お泊り保育（幼稚園）

8月 一日体験学習（高等学校）

9月 修学旅行（高等学校・本校舎3年）

※2020年3月実施の延期分

10月 オープンキャンパス（中学校）

白鷗祭（大学）

11月 修学旅行（高等学校 富田キャンパス2年）
※2021年2月に延期後、中止

12月 スキー教室（中学校）

2021年

1月 予餞会（高等学校）

雪あそび（幼稚園）

2月 保育参加（幼稚園）

3月 海外研修旅行（中学校）

※2021年6月に延期 国内修学旅行へ変更

修学旅行（高等学校 本校舎2年）

※2021年8月に延期

(2) 新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大による影響

2020年度は、1年間を通じて新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の影響により、大学、高等学校、中学校、幼稚園いずれも従来方式での授業形態、各種行事を中止または変更せざるを得ない状況となりました。

大学部門においては、入学式、スポーツ大会、白鷗祭（学園祭）は中止となり、オープンキャンパス、保護者懇談会、卒業式は従来の開催方法を変更して実施されました。また、前期授業開始時期が約3週間遅れ、授業も原則オンラインによる遠隔授業の実施（後期からは対面授業も一部再開）、大学内への入構が制限され、部活動やサークル等の課外活動も大幅に制限されるなど、通常の教育環境・学生生活環境とは大きく異なる1年間となりました。大学としては、学生及び学費支弁者の皆様に多くの困難や負担が発生したことから、より良い学修環境を整備できるよう以下の対応を行いました。

①支援金の給付

学生に遠隔授業を受講するための環境整備の経費負担を少しでも軽減し、学修環境全般を整えていただくための緊急支援として、在学生全員に一人当たり一律50,000円を支給いたしました。

②学納金の延納

家計急変に対応するために、学費の延納期限を前期は6月末日から8月末日に変更、後期の延納期限を12月下旬まで延期する措置をいたしました。

高等学校、中学校及び幼稚園は、2020年4月の緊急事態宣言の影響で臨時休校措置や分散登校を行い、通常授業開始時期が約2か月遅れることになりました。（これに伴う授業時間確保のために、夏休みが大幅に短縮されました。）また、感染防止の観点から新しい生活様式に基づいた授業スタイルになるなど、教員、生徒及び園児にとって従来とは全く違った教育環境での学校生活を送ることとなりました。

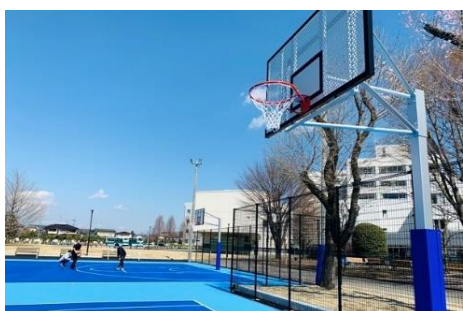
このような状況下であっても、本法人としては、学生・生徒・園児への心身及び学修面のケア、教育の質を下げないよう創意工夫を凝らした授業の実施など、1年間を通じて教育活動を行ってまいりました。特にICTを用いたオンラインによる遠隔授業では、対面授業とはまた違った教育効果が期待されること、2021年度も新型コロナウイルスの影響が続くことから、今後も対面授業と遠隔授業を併用しながら教育の質向上を目指していくこととなります。

(3) 学長、校長の退任

2020年度をもって、奥島孝康氏が大学長を、岡部宣男氏が高等学校長を、中戸康平氏が中学校長を退任されました。奥島学長の後任には、本学の理事であり名誉教授の北山修氏、岡部高等学校長の後任には、高等学校副校長の大橋芳樹氏、中戸中学校長の後任には、高等学校文理進学コース長等を歴任された高久哲史氏が、2021年4月1日からそれぞれ就任されました。

(4) 大学大行寺キャンパスの再整備について

大行寺キャンパスは、既に2018年度より、1・4号館を教室棟から実習棟に変更、1号館アネックス2階の大教室はダンス室に改修、老朽化した旧短大校舎（5～10号館）は解体し、教育学部に特化したキャンパスの整備を進めていますが、この度2021年3月に短大校舎跡地に芝生広場と多目的広場が完成しました。引き続きバス停留所の移設及びロータリーの整備を行い、今秋に竣工する予定です。



II.事業の概要

2. 白鷗大学の基本計画

教育活動の概要

建学の理念をゴールとしてさらに具体化した「教育目標」は、次の4項目から構成されています。

1. 激動する国内外に適応し、積極的に協調し、貢献できる語学力とコミュニケーション能力を養うこと。
2. 洞察力を磨き、修得した専門知識を統合し、問題解決型の行動力を養うこと。
3. 教員と学生の人的ふれあいを重視するとともに、各分野にわたる最新のコース別講義体系、相互討論などを通じ、十分な思考力と多様な個性を育成すること。
4. 知・徳・体を備えた人格形成に努めるとともに、自らの判断、努力と責任に基づいて、国内外社会に積極的に貢献できる強靱な精神を養成すること。

基本理念

学生教育を中心とする大学作り

何よりも学生を大切にし、学生が主体的に学ぶ活気ある大学を目指す

豊かな人間性と専門的知識の養成

幅広い教養を基に豊かな人間性を育み、基礎学力と高い専門性を基盤として

課題発見・解決能力に優れた人材を育成する大学を目指す

地域及び国際社会との連携（地域活性化の中核的拠点となる）

地域に根ざして世界にはばたく人材を育成する大学を目指す

自己改革

計画・実行・評価・改善の改革サイクルによる自己点検評価を行い、

基本理念を実現するために大学改革を継続する

【白鷗大学3つのポリシー】

◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針について）

白鷗大学は、国際的視野を持ち、各分野の学修によって得られた専門的知識を活かして社会の発展に貢献できる人材の育成を目標とし、本学における教育を通して以下の能力を修得することをディプロマ・ポリシーとしています。

1. 二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力
2. 激変する国際社会の中にあって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力
3. 本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力
4. 自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力

◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針について）

白鷗大学は、ディプロマ・ポリシーに定める能力を身につけさせることができるよう、以下の方針に沿って教育課程を編成することをカリキュラム・ポリシーとしています

1. 激動する国際情勢に適切に対応し、積極的に国際貢献ができる確かな外国語運用能力と、他者と協調し相互理解を深めるためのコミュニケーション能力を養う。
2. 各分野にわたる最新の講義体系の採用により、専門知識の習得を充実させるとともに、社会的要請に応え得る情報教育を実施する。
3. 人的ふれあいを重視した教員と学生の相互討論等を通じ、習得した専門知識に磨きをかけ、課題を適切に発見し、解決する力を養う。

4. リベラル・アーツを重視しつつ、知・徳・体を備えた人格の形成に資する教育を行う。

◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

白鷗大学は、大学の建学理念を具現化する言葉「PLUS ULTRA（さらに向こうへ）」の精神に沿った、チャレンジスピリット、パイオニアスピリットを有する入学者を受け入れることをアドミッション・ポリシーとしています。

（入学者選抜実施の基本原則）

本学では、次の二つの原則に則り入学者選抜を実施します。

個人の尊重：入学希望者一人ひとりの個性を尊重した評価を行います。

公平性：どのような境遇や背景のもとでも本学で学修できるように、経済的支援に配慮した選抜を実施します。

（入学者選抜評価の基本方針）

本学における学修に求められる基本的な資質能力及び潜在能力を、次の3つの観点から評価します。

1. 【知識・技能】

基礎的・基本的な知識及び技能

2. 【思考力・判断力・表現力】

知識及び技能を活用して思考し、判断し、表現する力

3. 【主体性・多様性・協働性】

多様な人々と協働して主体的に学修に取り組む態度

（入学者選抜の特色）

本学では、各入学希望者の総合的な資質能力を個別・適正に評価するため、多様な方法で入学者選抜を実施します。

1. 総合型選抜

総合型選抜は、本学で学ぶことを強く希望し、各学部の教育理念・目的を理解し、「何を学ぶか」明確な目的意識を持った入学者を受け入れるため実施します。

2. 学校推薦選抜

学校推薦型選抜は、一定水準の基礎学力を有した者で、本学における諸科学分野の勉学に強い熱意を有し、かつ、その適性があると認められ、将来性のある者に対して広く大学の門戸を開放することを目的に実施します。

3. 学業特待選抜

入学後に経済的支援を行う入学生を選抜する独自の選抜方法で、一定基準以上の優れた学力を有し、本学入学後、各学部の学習に意欲的に取り組み、個性豊かな覇気に富む学生に対して広く大学の門戸を開放することを目的に実施しています。

4. 一般選抜

表現力の基礎となる言語運用能力を重視した「英語」「国語」の2科目の学力試験です。

5. 共通テスト単独選抜

大学入学共通テストの結果により評価することで、本学から離れた地域からの受験生にも配慮し、入学希望者の受験機会を幅広く確保します。

6. 特別入試

その他特別入試として、経営学及び法学部のみ「社会人」、「帰国生徒」、「留学生」を若干名募集しています。

（1） 事業運営の概要

（ア） 教育環境の充実

2018年度から、JR小山駅前の新キャンパスに大学本部及び経営学部の機能を移転させ、新キャンパスを本キャンパスとし、現在経営学研究科・法学研究科・経営学部、法学部の2研究科2学部の学生、約3,000名が学んでいます。

本キャンパスでは、学生の学修、研究に資する最新の設備・機器を備えることはもちろん、学生にとって居心地の良い環境(アメニティ)を提供することで、総合的な教育環境の充実化を図っています。

一方、大行寺キャンパスでは、前述した通り、教育学部に特化したキャンパスとして再整備を行っています。

II.事業の概要

・朝食提供の取り組み

健康を基礎とした環境を整えるために学生食堂での朝食を無料および100円で提供しています(4月授業期間のみ無料)。学生の金銭的負担を軽くするため、大学負担による低価格での提供を行っており、この取り組みは1999年から行っている取組です。(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止いたしました。)

(イ) キャリア支援の推進

・「スクールサポート」の取り組み

白鷗大学独自のシステムである「スクールサポート」では、入学時から教員を志している学生が多い教職課程履修者を中心に、学生が実際の教育現場に参加することができ、現場経験を積むことで学生の視野を広げています。学生は連携する地域の小・中学校で現職教員の指導の下、児童・生徒の学習活動や部活動等の支援を行います。(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止いたしました。)

(ウ) 国際交流分野の強化

・海外留学、海外研修の取り組み

全学生を対象とした交換留学制度・海外研修、また経営学部の学生を対象とした任意の留学制度を海外19大学との交流協定のもとに進めています。開学以来、学部学科を問わず、1年次から日々の学生生活にグローバルな視野を育む取り組みとして語学授業以外に留学生による無料語学講座 Hakuoh Study Lounge や、Speech Festival、異文化理解イベント等を積極的に行っています。また一方で海外留学に伴う様々なリスク管理にも目を向け、安全で充実した海外生活支援を進めています。

(エ) 地域・社会貢献活動の強化

・小山市との連携事業

白鷗大学と小山市は2007年3月に、人財、教育・研究、産業・雇用をはじめとする各分野で連携と協力により、地域の課題に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に、連携に関する協定を締結し、年に1度連携事業報告会を開催しています。(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止いたしました。)

・結城市との連携事業

白鷗大学と結城市は、2016年3月に、地域振興、学校教育・生涯学習、研究・人材育成、健康・福祉をはじめとする各分野で連携・協力することにより、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に連携協定を締結し、年に1度連携事業報告会を開催しています。(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止いたしました。)

・白鷗フォーラムの取り組みについて

2020年度の白鷗フォーラムは、新型コロナウイルスの影響によりWEBフォーラム形式にて開催いたしました。(講師：北山修先生 全体(全3回)を通じたテーマは、「きたやまおさむと語る『危機と日本人』」)

第1回目 9月27日(日) 「コロナと日本人の深層心理」

指定討論者：伊崎純子 白鷗大学教授 司会進行：菅家ゆかり氏

第2回目 11月29日(日) 「あの素晴らしい愛について」

ゲスト討論者：香山リカ氏 司会進行：菅家ゆかり氏

第3回目 2月7日(日) 「日本人の心と未来」

ゲスト：田中優子氏 白井貴子氏 司会進行：菅家ゆかり氏

(オ) 高等教育修学支援認定校に選定

高等教育の修学支援新制度（※）では、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、一定の要件を満たすことの確認を受けた大学等を対象機関とすることとしており、本学は、高等教育の修学支援新制度の支援対象機関として認定されています。

※高等教育の修学支援新制度

支援対象となる学生（入学生・在学学生）が、「機関要件」を満たした大学等（支援対象機関）に入学・在学することで、授業料・入学料の減免や日本学生支援機構による給付型奨学金の支給が行われる制度です。（2020年度から実施）

(2) コロナ禍における大学の授業

新型コロナウイルス感染防止の観点から、2020年度前期開講科目は全ての授業回数を遠隔授業（※）としました。ただし、学内の設備・機器を使用しないと授業が成り立たない実技・実習科目については、一部の実習・実技の授業分を「対面授業での集中講義」として夏休み中に開講することを可とする措置をとりました。

後期授業については、対面授業と遠隔授業を併用して実施しました。対面授業を行う科目は、原則として授業形態が「演習」「実技」「実習」「実験」の科目、少人数の講義科目とし、対面授業を行う科目であっても、教育的効果が認められるときは、15回のうち半分の回数まで、遠隔で授業を行うことができることにしました。

しかし、2021年1月に栃木県に緊急事態宣言が発令されたために、1月以降の後期授業は、すべて遠隔授業に切り替えての実施となりました。

（※）遠隔授業は、原則オンデマンド型（授業を録画したビデオや URL にアップされた動画、あるいはナレーション付の講義資料（PowerPoint 等）を視聴する授業）で実施。

(3) 2020年度卒業・修了者数（9月卒業生含む）

（2021年3月31日現在）

大学		卒業生数
経営学部	経営学科	433 名
法学部	法律学科	293
教育学部	発達科学科	482
	児童教育専攻	255
	スポーツ健康専攻	115
	英語教育専攻	56
	心理学専攻	56
大学計		1,208
大学院		修了者数
	経学研究科	1
	法学研究科	2
大学院計		3
総合計		1,211

II. 事業の概要

(4) 学業特待制度について

優秀な学生の経済的負担を少しでも軽減し、安心して学業に専念できる環境を整えるために、白鷗大学では開学以来独自の学業特待制度を設けています。この制度によって減免された費用を留学や資格取得の資金に充てるなど、多くの学業特待生が充実した学生生活を送っています。対象者は全定員の3割以上で、成績上位者には面接選考で学費全額免除の資格を受けることができます。また2年次末には資格の見直しがあり、学生の学習意欲を高める役割を果たしています。

(5) キャンパス概要



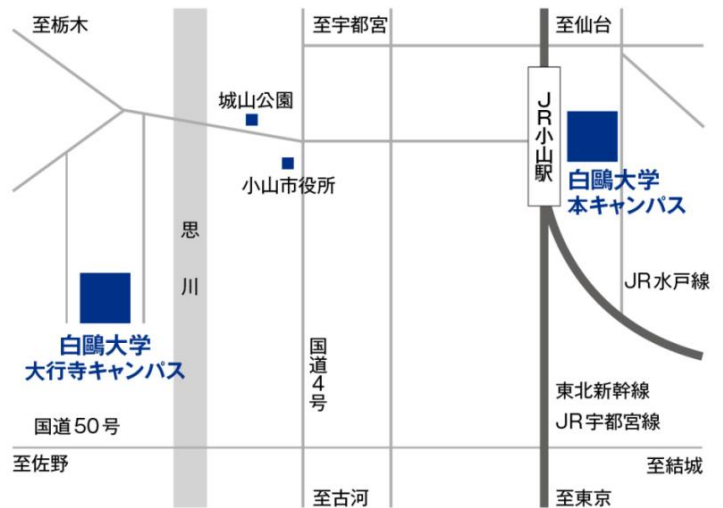
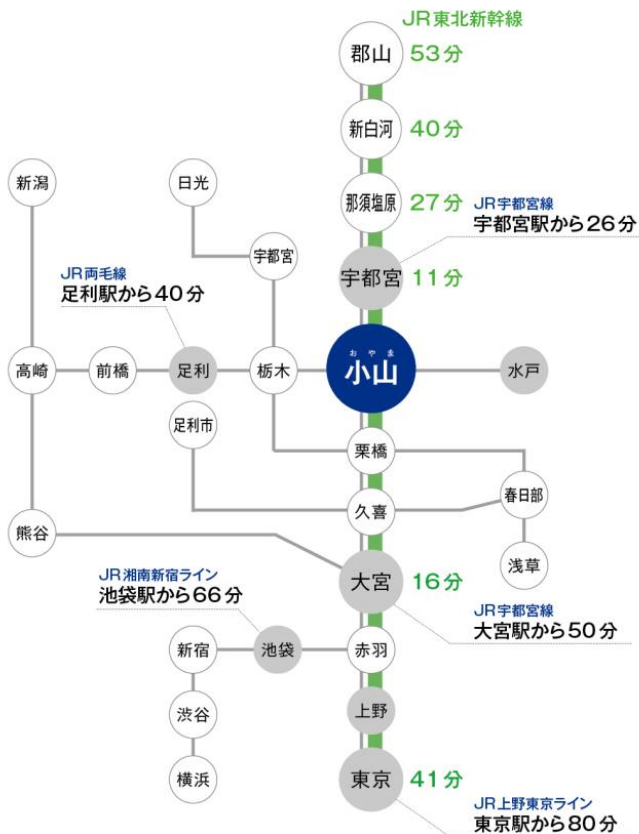
本キャンパス

(経営学部、法学部、大学院経営学研究科、大学院法学研究科)
〒323-8586
栃木県小山市駅東通り 2-2-2
TEL 0285-22-1111
JR 小山駅東口より徒歩 1 分



大行寺キャンパス

(教育学部)
〒323-8585
栃木県小山市大行寺 1117
TEL 0285-22-8900
JR 小山駅西口より無料スクールバスで 5 分、または徒歩 20 分



3. 白鷗大学足利高等学校の基本計画

(1) 教育活動の概要

白鷗大学足利高等学校は、1科（普通科）4コースを有する総合高校で2つのキャンパスでそれぞれの特色ある教育体制を敷いています。

本校舎では、一人ひとりの個性を大切に、主体性の確立をめざすことにより、多様な進路の実現を図っています。「文理進学コース」、「総合進学コース」等併せて736名の生徒が学んでいます。富田キャンパスでは、緑に囲まれた静かな環境の中で、徹底した受験指導により、生徒たちの希望する大学への進路実現を図っています。「特別進学コース」、「進学コース」の生徒476名が学んでいます。

「PLUS ULTRA」（さらに向こうへ）を教育目標とし、自立精神の涵養、責任と義務の会得、豊かな良識と個性の伸長に励んでいます。2019年度入試では本校舎・富田キャンパスを合わせ東北大学、北海道大学、お茶の水女子大学、東京農工大学、千葉大学を含め国公立大学に47名が合格しました。また、早稲田大学、上智大学、東京理科大学、明治大学、青山学院大学等私立大学に466名が合格しました。うち白鷗大学には72名が入学しました。

(2) 重点事業の概要

「SSH」から「HSS」へ

平成25年度～30年度までの5年間、文部科学省の指定を受けて実施したスーパーサイエンスハイスクール(SSH)活動を白鷗スーパーサイエンス(HSS)活動として継承しています。

- ・富田キャンパスでは、大学や研究機関・企業との連携を深め、キャリア教育・生涯教育を軸として最先端の科学技術を体験させるなど、新たな教育プログラムを開発することにより、科学的思考力や問題解決能力を一層高め、理数系スペシャリストを育成します。具体的には、大学教授による出張講演、大学研究室訪問、地域貢献も担う小学生を対象とした「白鷗理科教室」、科学体験講座、課題研究などに取り組んでいます。
- ・本校舎では、富田キャンパス同様に科学的思考力や問題解決能力を育成することに加え、探求学習への取り組みや環境問題をテーマとした研究を重視しています。具体的には、環境問題を軸とした理科・社会の科目横断型探求活動、大学見学、授業体験、企業見学、英語講座などに取り組んでいます。

部活動の活発化

本校舎を中心とした部活動も活発で、硬式野球部、女子ソフトボール部、女子バスケットボール部、女子サッカー一部柔、道部、陸上部などの運動部をはじめ、毎年、県大会、関東大会、そして全国大会に複数の部が出場し上位の成績を収めています。

(3) 卒業者数

科	卒業者数
普通科	406名

*2021年3月1日、卒業式を挙行。

II.事業の概要

4. 白鷗大学足利中学校の基本計画

(1) 教育活動の概要

白鷗大学足利中学校では、生徒各自の進路実現をめざし、家庭的な雰囲気の中で、基礎学力の充実や品性の陶冶を旨とする教育を行っています。2011年度に理系大学進学をめざす中高一貫教育コースを開設し、進学教育コース（卒業時に自由に進路選択できる従来のコース）との2コース体制に移行しましたが、2017年度入学生からは、全員が白鷗大学足利高等学校への入学資格を有した状態で、卒業時に自由に進路選択可能な単一の新体制に発展進化しています。

「PLUS ULTRA～さらに向こうへ～」の校訓のもと、生徒の天分や秘められた可能性を最大限に引き出す教育活動を展開しています。

(2) 重点事業の概要

確かな学力と高い知性の習得：平日は7時間授業、土曜日は3時間授業（第3・5土曜日は除く）を実施し、主要5教科の授業時間数を多く確保しています。また英語・数学においては、少人数編成の習熟度別授業を実施し、一部のクラスでは先取り学習も行っています。さらに1年次より平日および夏季休業中に補習授業を実施しています。

異文化理解の深化：ネイティブによる英語コミュニケーション授業を実施して言語活動の充実に努めています。また教育目標の「広く国際的な感覚を身につける」を具現化する行事として、オーストラリアでのホームステイを中心とした海外研修旅行（2年生対象）を実施しています。さらに外部講師を招聘した国際理解講座も行っています。

学校行事の運営：林間学校、体育祭、予餞会など主な学校行事の企画・運営は生徒主体で行っており、生徒一人一人の豊かな人間性の育成に役立っています。また異学年交流行事が多く、主体性・協調性の涵養のみならずリーダーシップの育成にも役立っています。

セミナーの実施：有識者や白鷗大学を含む大学教員等によるシーガルセミナーや講座の実施を通じて、生徒の人間力を高める教育に力を入れています。

(3) 卒業者数

卒業者数
44名

* 2021年3月16日、第58回卒業式を挙行。

5. 白鷗大学はくおう幼稚園の基本計画

(1) 教育活動の概要

はくおう幼稚園では、「子ども一人ひとりが認められ、自分の存在を実感できる幼稚園」、具体的には、

1. 子ども一人一人が自らの存在を実感し、居がいを持ち生き生きと活動する幼稚園
2. 子ども一人一人が基本的な生活習慣を身につけた幼稚園
3. 教育環境が機能的に整備された幼稚園
4. 保護者や地域から信頼される幼稚園
5. 職員一人一人が自らの資質・能力の向上に努める幼稚園

を目指して日々の教育・保育に取り組んでいます。2020年度は年少36名、年中29名、年長20名、計85名の園児でスタートを切りました。下記にあるような行事や日常の遊びや製作などをおして社会性を育み、豊かな心とたくましい体づくりを目指して保育に取り組んでいます。

主な行事

入園式、さつま苗植え、七夕祭り、おとまり保育、夕涼み会、十五夜、運動会、やきいもパーティ、おゆうぎ会、おもちつき、ひなまつり、卒園式 など

※コロナ禍による中止：遠足、クラス別お茶会、家族で楽しむ日、家庭訪問、職場見学、雪あそび、保育参加

※コロナ禍による形を変えての実施：さつま苗植え→先生による実施、お泊り保育→お楽しみ保育（宿泊無し）、夕涼み会→夏祭り（園庭で実施）、おゆうぎ会→学年別開催

(2) 重点事業の概要

課外活動：外部講師を招聘して、英語、サッカー、ダンスなどの課外活動を年間通して実施するなど、はくおう幼稚園ならではのプログラムを行うことで次の時代をたくましく生きる子どもを育てることを目指しています。英語は外国人講師、サッカーは外部講師と白鷗大学サッカー部学生、ダンスは白鷗大学ダンス部・サークル学生による指導を行っており、法人内外との連携を持った活動を展開しています。

未就園支援事業：「おひさまクラブ」、「Fun Fun Kids」、「ママといっしょに」の運営を通じて、未就園の子どもたちの社会性をはぐくみ、集団生活に慣れさせるとともに保護者の子育て支援にも寄与しています。

(3) 卒園者数

クラス	卒園者数
年長	20名

2021年3月21日、第45回卒園式を挙行。

III.財務の概要

1. 学校法人会計について

学校法人とは、学校教育法および私立学校法の定めるところにより、私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院）の設置・運営を目的として設立される法人のことです。学校法人は、寄附行為において、その目的、名称、設置する私立学校の種類、名称等の事項を定め、所轄庁の認可を得て設立されるもので、設置者の理念である建学の精神や学校独自の教育研究活動の理念・目標に基づいて教育研究活動を行い、その成果を社会に還元することを目的としており、企業のように営利目的の事業活動を行うことを目的としていません。そのため、学校法人会計と企業会計とでは、会計の目的が異なります。

企業会計においては、損益を正しく計算し、企業の業績及び財政状態を利害関係者に示すことを目的としていますが、学校法人会計においては、損益よりも、予算計画に基づいて永続的な教育研究活動を行うために必要となる運営資金を安定的に確保し、教育研究活動が健全に行われていることを利害関係者に示すことを目的としています。

また、学校法人はその事業を行うにあたり、必要な施設や設備およびこれらに要する資金等経営に必要な財産を保持するために、自己資金のほかに国や地方公共団体等から経常的経費について補助を受けています。この補助制度が創設されるに当たり、公的な補助を受ける学校法人の公共性を高め、適正な会計処理を行わせることを目的として、1971（昭和46）年に統一的な会計基準が制定されました。それが学校法人会計基準です。学校法人においては、学校法人会計基準に則り、会計処理を行い、計算書類（財務諸表）を作成することが義務付けられています。学校法人会計基準は、社会・経済状況の大きな変化、会計のグローバル化等を踏まえた様々な会計基準の改正、私学を取り巻く経営環境の変化等を受けて、公教育を担う学校法人の経営状態について、社会にわかりやすく説明する仕組みが求められていることから、2013（平成25）年に改正され、2015（平成27）年度の財務諸表より適用されることとなりました。

なお、企業における財務諸表は、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書ですが、学校法人における財務諸表は、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表となっています。

2. 2020年度決算の概要

2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の決算の概要のうち、主なものについて説明します。

【資金収支計算書】

資金収支計算書は、1年間の収入・支出毎の資金の流れの総額を表したものであり、企業会計における「キャッシュフロー計算書」に近似したものです。2020年度の翌年度繰越支払資金は3,416百万円と前年度比509百万円の増加となりました。

(1) 収入の部

① 学生生徒等納付金収入（6,183百万円）

授業料収入 4,205百万円、入学金収入 485百万円、施設設備資金収入 1,398百万円。

②手数料収入（200 百万円）

入学検定料収入 192 百万円。2021 年度の志願者数は大学 5,594 名、高校 4,695 名、中学 67 名で総計 10,356 名でした。

③寄付金収入（31 百万円）

特別寄付金 14 百万円のうち、0.5 百万円は受配者指定寄付金、7 百万円は鷗友会。一般寄付金 17 百万円。

④補助金収入（1,078 百万円）

国庫補助金収入 468 百万円

県費補助金収入 608 百万円

市費補助金収入 2 百万円

⑤資産売却収入（95 百万円）

主なものは有価証券の売却収入です。昨年度比 81 百万円増加となっています。

⑥付随事業・収益事業収入（7 百万円）

新型コロナの影響でオンライン授業がほとんどでしたので付随する収入は減少となっています。

⑦受取利息・配当金収入（145 百万円）

有価証券及び引当資産等の運用による受取利息及び配当金です。

⑧雑収入（296 百万円）

退職金財団等交付金収入 77 百万円、退職金社団等交付金収入 184 百万円で 2020 年度退職者に対する交付額です。施設設備利用料収入 25 百万円は土地・建物等の賃貸料及び教室貸出の利用料です。

⑨前受金収入（1,285 百万円）

2020 年度に入学手続きをした 2021 年度新入生の納付金です。

⑩その他の収入（1,290 百万円）

特定資産の取崩収入増加等により、前年度比 108 百万円増加となっています。

⑪資金収入調整勘定（1,538 百万円）

期末未収入金 318 百万円

補助金収入、雑収入等には未収入分が含まれているので、その額を控除しています。

前期末前受金 1,220 百万円

前年度末に受け入れた当年度分の収入が学生生徒等納付金収入に含まれているので、その額を控除したものです。

Ⅲ.財務の概要

(2) 支出の部

①人件費支出 (3,687 百万円)

教員人件費 2,505 百万円、職員人件費 856 百万円、退職金 274 百万円。

②教育研究経費支出 (2,376 百万円)

教育研究部門の諸経費で、主なものは特待生の授業料減免額等である奨学金支出 1,250 百万円、そのうち 258 百万円はコロナ支援金として全在學生に支給。学生生徒活動補助費支出 60 百万円、設備等の管理委託料支出 397 百万円です。

③管理経費支出 (556 百万円)

教育研究費支出に計上されていない管理部門の諸経費（主なものは学生募集費等）です。

④借入金等利息支出 (22 百万円)

日本私立学校振興・共済事業団及び市中金融機関からの借入金に対する支払利息です。

⑤借入金等返済支出 (800 百万円)

日本私立学校振興・共済事業団及び市中金融機関からの借入金の返済額です。

⑥施設関係支出 (279 百万円)

前年度比 25 百万円減少となっています。

⑦設備関係支出 (140 百万円)

教育研究用機器備品支出	89 百万円
管理用機器備品支出	12 百万円
図書支出	23 百万円
車両支出	7 百万円
ソフトウェア支出	6 百万円

⑧資産運用支出(742 百万円)

特定資産の期日前償還分の買い替えの減少により、前年度比 172 百万円減少としています。

⑨その他支出 (410 百万円)

主なものは前期末未払金支払支出と預り金支払支出です。

【事業活動収支計算書】

事業活動収支計算書は、経営の状況について表したものであり、企業会計における「損益計算書」に近似したものです。2020 年度基本金組入前当年度収支差額は 80 百万円と前年度比 158 百万円の増加となりました。資金収支計算書で説明したものは省略します。

1. 教育活動収支差額 (▲82 百万円)

(1) 教育活動収入 (7,760 百万円)

①学生生徒等納付金

大学部門前年度比 230 百万円の減少、高校部門前年度比 14 百万円の増加となりました。

②経常費等補助金

大学部門における補助金の減少 99 百万円、高校部門は 47 百万円の減少となりました。

③雑収入

大学部門における退職者は減少したことにより 166 百万円減少となり、高校部門における退職者は増加したことにより 158 百万円増加しました。

(2)教育活動支出 (7,843 百万円)

①人件費

大学は 260 百万円の減少、高校は 135 百万円の増加、中学は 18 百万円の増加、幼稚園は 14 百万円の増加により 85 百万円の減少となりました。

②教育研究経費

全体的に減少しており、前年度比 74 百万円の減少となりました。

③管理経費

全体的な減少により、105 百万円減少となりました。

以上の要因等により教育活動収支差額は▲82 百万円となり、前年度比 57 百万円増加となっています。

2. 教育活動外収支差額 (124 百万円)

(1)教育活動外収入 (147 百万円)

受取利息・配当金

運用相場環境が悪化したことにより、前年度比 28 百万円の減少となりました。

(2)教育活動外支出 (22 百万円)

借入金等利息

前年度比 7 百万円の減少となりました。

以上の要因等により教育活動外収支差額は 124 百万円となり、前年度比 21 百万円減少となりました。

この結果、経常収支差額（教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計）は、41 百万円となり、前年度比 35 百万円増加となりました。

3. 特別収支差額 (38 百万円)

(1) 特別収入 (92 百万円)

①その他の特別収入

有価証券の売却差額や施設設備補助金等によるもので、保険金がなくなったため前年度比 392 百万円の減少となりました。

(2) 特別支出 (54 百万円)

①その他の特別支出

高校の水害による災害損失等によるものであり、前年度比 515 百万円の減少となりました。

以上の要因等により特別動外収支差額は 38 百万円となり、前年度比 123 百万円増加となっています。

Ⅲ.財務の概要

4. 基本金組入額

第1号基本金組入額は、校地・校舎・構築物・器具備品・図書等の当年度取得額及び過年度において資産取得にあつた借入金の当年度返済額等を示すもので、992百万円組入れています。

【貸借対照表】

貸借対照表は、学校法人の期末における資産と負債・基本金・消費収支差額の状況を表示して、財政状態を表しています。資産総額から負債総額を差し引いた「純資産」は前年度より80百万円増加し、34,524百万円となりました。

(1)資産の部

①有形固定資産

有形固定資産は減価償却累計額を控除した金額で表示しています。昨年度より744百万円減少しています。

②退職給与引当特定資産

将来の教職員の退職金支払いに備えて引当資産化したものです。

③減価償却引当特定資産

将来取壊しが予定されている施設設備の減価償却累計額を引当資産化したものです。

(2)負債の部

①借入金

短期借入金8億円の返済を行いました。2021年度に返済予定の借入金8億円は短期借入金へ振替えています。

②退職給与引当金

大学は私立大学退職金財団へ加入しております。期末退職金要支給額と同財団に対する掛け金の累積額と交付金の累積額との調整額を加減した金額の100%を退職給与引当金として計上しています。

(3)基本金の部

①第1号基本金

現在所有している校地・校舎・機器備品・図書等の資産を自己資金で調達した総額を示したものです。

②第4号基本金

学校法人の恒常的に保持すべき運転資金としての基本金です。

法人名：学校法人白鷗大学

資金収支計算書

2020年4月1日から

2021年3月31日まで

<総括表>

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	6,156,221,200	6,183,482,500	△ 27,261,300
手数料収入	190,300,000	200,851,866	△ 10,551,866
寄付金収入	19,560,000	31,818,978	△ 12,258,978
補助金収入	1,075,241,500	1,078,789,671	△ 3,548,171
国庫補助金収入	463,870,000	468,067,300	△ 4,197,300
地方公共団体補助金収入	611,371,500	610,722,371	649,129
資産売却収入	50,000,000	95,976,000	△ 45,976,000
付随事業・収益事業収入	12,550,000	7,828,846	4,721,154
受取利息・配当金収入	162,000,300	145,106,909	16,893,391
雑収入	309,097,500	296,774,587	12,322,913
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,160,140,000	1,285,468,253	△ 125,328,253
その他の収入	794,920,835	1,290,992,814	△ 496,071,979
資金収入調整勘定	△ 1,493,076,769	△ 1,538,354,900	45,278,131
前年度繰越支払資金	2,907,466,782	2,907,466,782	0
収入の部合計	11,344,421,348	11,986,202,306	△ 641,780,958
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,843,577,500	3,687,033,623	156,543,877
教育研究経費支出	2,569,590,000	2,376,569,963	193,020,037
管理経費支出	643,160,000	556,864,449	86,295,551
借入金等利息支出	22,700,000	22,651,464	48,536
借入金等返済支出	800,000,000	800,000,000	0
施設関係支出	282,084,000	279,365,187	2,718,813
設備関係支出	160,000,000	140,040,736	19,959,264
資産運用支出	185,000,000	742,966,538	△ 557,966,538
その他の支出	411,001,036	410,281,221	719,815
〔予備費〕	(35,584,000) 14,416,000		14,416,000
資金支出調整勘定	△ 390,105,752	△ 446,494,375	56,388,623
翌年度繰越支払資金	2,802,998,564	3,416,923,500	△ 613,924,936
支出の部合計	11,344,421,348	11,986,202,306	△ 641,780,958

活動区分資金収支計算書

2020年4月1日から

2021年3月31日まで

<総括表>

(単位 円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	6,183,482,500
		手数料収入	200,851,866
		経常費等補助金収入	1,041,856,671
		教育活動資金収入計	7,760,593,221
	支出	人件費支出	3,687,033,623
		教育研究経費支出	2,376,569,963
		教育活動資金支出計	6,620,468,035
		差引	1,140,125,186
		調整勘定等	251,392,102
		教育活動資金収支差額	1,391,517,288
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	36,933,000
		施設整備等活動資金収入計	894,179,871
	支出	施設関係支出	279,365,187
		設備関係支出	140,040,736
		施設整備等活動資金支出計	1,081,815,725
		差引	▲ 187,635,854
		調整勘定等	▲ 47,408,702
		施設整備等活動資金収支差額	▲ 235,044,556
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			1,156,472,732
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0
		受取利息・配当金収入	145,106,909
		その他の活動資金収入計	419,674,103
	支出	借入金等返済支出	800,000,000
		借入金等利息支出	22,651,464
		その他の活動資金支出計	1,066,690,117
		差引	▲ 647,016,014
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額	▲ 647,016,014	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			509,456,718
前年度繰越支払資金			2,907,466,782
翌年度繰越支払資金			3,416,923,500

法人名：学校法人白鷗大学

事業活動収支計算書

2020年4月1日から

2021年3月31日まで

<総括表>

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	6,156,221,200	6,183,482,500	△ 27,261,300	
		手数料	190,300,000	200,851,866	△ 10,551,866	
		寄付金	17,310,000	30,248,751	△ 12,938,751	
		経常費等補助金	1,038,241,500	1,041,856,671	△ 3,615,171	
		国庫補助金	429,270,000	433,480,300	△ 4,210,300	
		地方公共団体補助金	608,971,500	608,376,371	595,129	
		付随事業収入	12,550,000	7,400,412	5,149,588	
		雑収入	309,097,500	296,324,587	12,772,913	
		教育活動収入計	7,723,720,200	7,760,164,787	△ 36,444,587	
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算
人件費	3,922,477,500			3,772,937,065	149,540,435	
教育研究経費	3,556,297,000			3,363,692,403	192,604,597	
管理経費	790,110,000			705,909,790	84,200,210	
徴収不能額等	607,790			607,790	0	
教育活動支出計	8,269,492,290			7,843,147,048	426,345,242	
教育活動収支差額			△ 545,772,090	△ 82,982,261	△ 462,789,829	
教育活動外収支	収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	164,000,300	147,540,489	16,459,811	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計			164,000,300	147,540,489	16,459,811
	支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		借入金利息	22,700,000	22,651,464	48,536	
その他の教育活動外支出		0	0	0		
教育活動外支出計			22,700,000	22,651,464	48,536	
教育活動外収支差額			141,300,300	124,889,025	16,411,275	
経常収支差額			△ 404,471,790	41,906,764	△ 446,378,554	
特別収支	収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	0	47,964,798	△ 47,964,798	
		その他の特別収入	41,550,000	44,836,366	△ 3,286,366	
	特別収入計			41,550,000	92,801,164	△ 51,251,164
	支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産処分差額	4,888,785	4,888,785	0	
その他の特別支出		49,500,000	49,500,000	0		
特別支出計			54,388,785	54,388,785	0	
特別収支差額			△ 12,838,785	38,412,379	△ 51,251,164	
〔予備費〕			(9,996,575)			
			40,003,425		40,003,425	
基本金組入前当年度収支差額			△ 457,314,000	80,319,143	△ 537,633,143	
基本金組入額合計			△ 1,052,300,000	△ 992,039,864	△ 60,260,136	
当年度収支差額			△ 1,509,614,000	△ 911,720,721	△ 597,893,279	
前年度繰越収支差額			△ 8,684,404,070	△ 8,684,404,070	0	
基本金取崩額			0	0	0	
翌年度繰越収支差額			△ 10,194,018,070	△ 9,596,124,791	△ 597,893,279	
(参考)						
事業活動収入計			7,929,270,500	8,000,506,440	△ 71,235,940	
事業活動支出計			8,386,584,500	7,920,187,297	466,397,203	

貸借対照表

2021年3月31日

<総括表>

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	32,600,539,494	34,493,302,963	△ 1,892,763,469
有形固定資産	28,615,748,150	29,360,298,273	△ 744,550,123
特定資産	3,333,182,691	4,451,152,040	△ 1,117,969,349
その他の固定資産	651,608,653	681,852,650	△ 30,243,997
流動資産	6,759,823,297	5,245,946,817	1,513,876,480
資産の部合計	39,360,362,791	39,739,249,780	△ 378,886,989
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	2,218,236,771	2,932,333,329	△ 714,096,558
流動負債	2,617,537,731	2,362,647,305	254,890,426
負債の部合計	4,835,774,502	5,294,980,634	△ 459,206,132
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	44,120,713,080	43,128,673,216	992,039,864
第1号基本金	43,630,713,080	42,638,673,216	992,039,864
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	490,000,000	490,000,000	0
繰越収支差額	△ 9,596,124,791	△ 8,684,404,070	△ 911,720,721
純資産の部合計	34,524,588,289	34,444,269,146	80,319,143
負債及び純資産の部合計	39,360,362,791	39,739,249,780	△ 378,886,989

財 産 目 録

2021年 3月31日現在

I 資産総額	39,360,362,791 円
内 基本財産	28,997,510,806 円
運用財産	10,362,851,985 円
II 負債総額	4,835,774,502 円
III 正味財産	34,524,588,289 円

(単位：円)

区 分	金 額
資産額	
一．基本財産	28,997,510,806
1．土地（借地権を含む）	259,060 m ² 6,176,177,247
2．建物	118,616 m ² 19,167,862,386
3．構築物	1,044,999,111
4．図書	286,873 冊 1,225,155,533
5．教具・校具・備品	4,911 点 1,273,754,841
6．建設仮勘定	0
7．その他	109,561,688
二．運用財産	10,362,851,985
1．預金・現金	3,416,923,500
2．積立金	150,700,360
3．退職給与引当特定資産	1,000,749,081
4．減価償却引当特定資産	2,332,433,610
5．第2号基本金引当特定資産	0
5．有価証券	2,943,281,623
6．その他	518,763,811
資産総額	39,360,362,791
負債額	
1.固定負債	2,218,236,771
(1)長期借入金	1,200,000,000
(2)退職給与引当金	1,018,236,771
2.流動負債	2,617,537,731
(1)短期借入金	800,000,000
(2)前受金	1,285,468,253
(3)未払金	359,188,623
(4)預り金	172,880,855
負債総額	4,835,774,502
正味財産（資産総額－負債総額）	34,524,588,289

経年比較

(1) 資金収支の状況

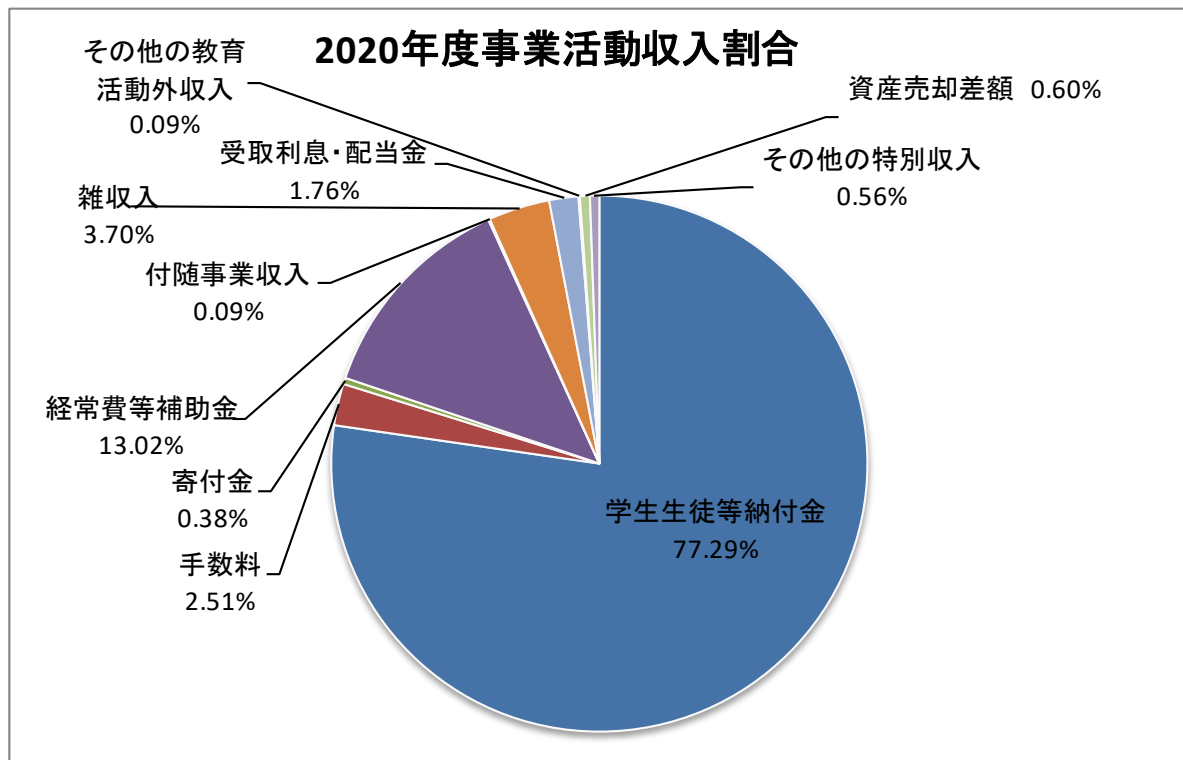
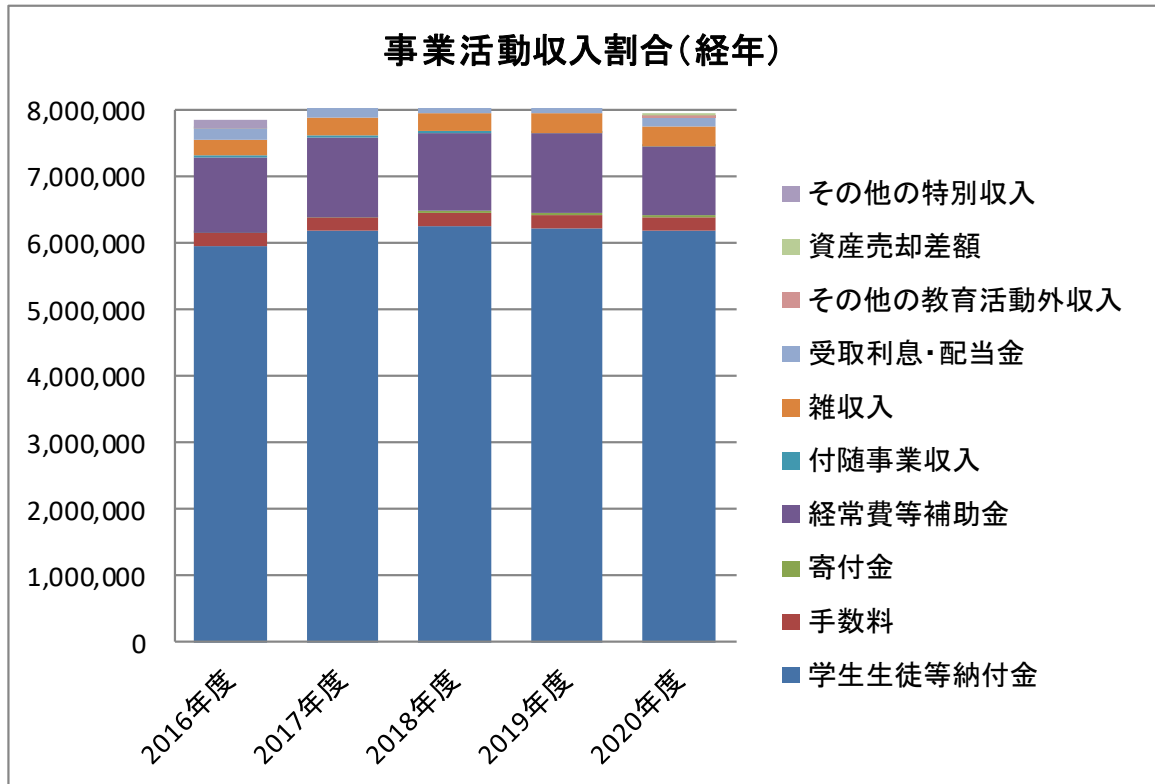
(単位：千円)

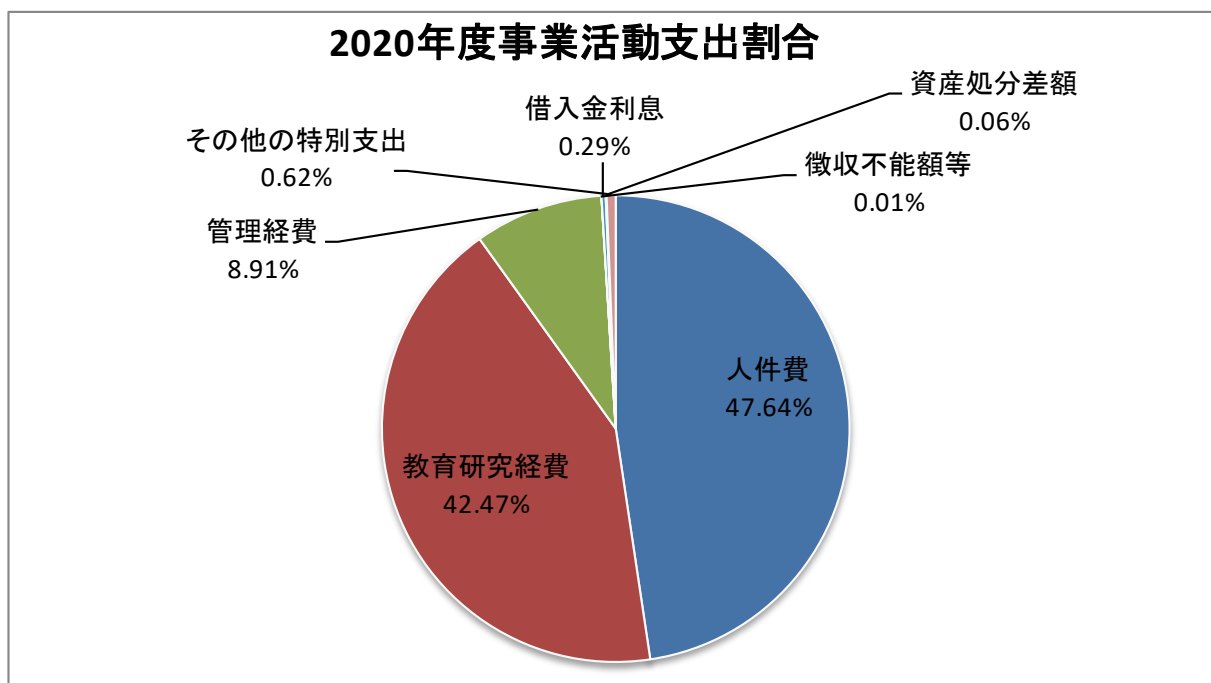
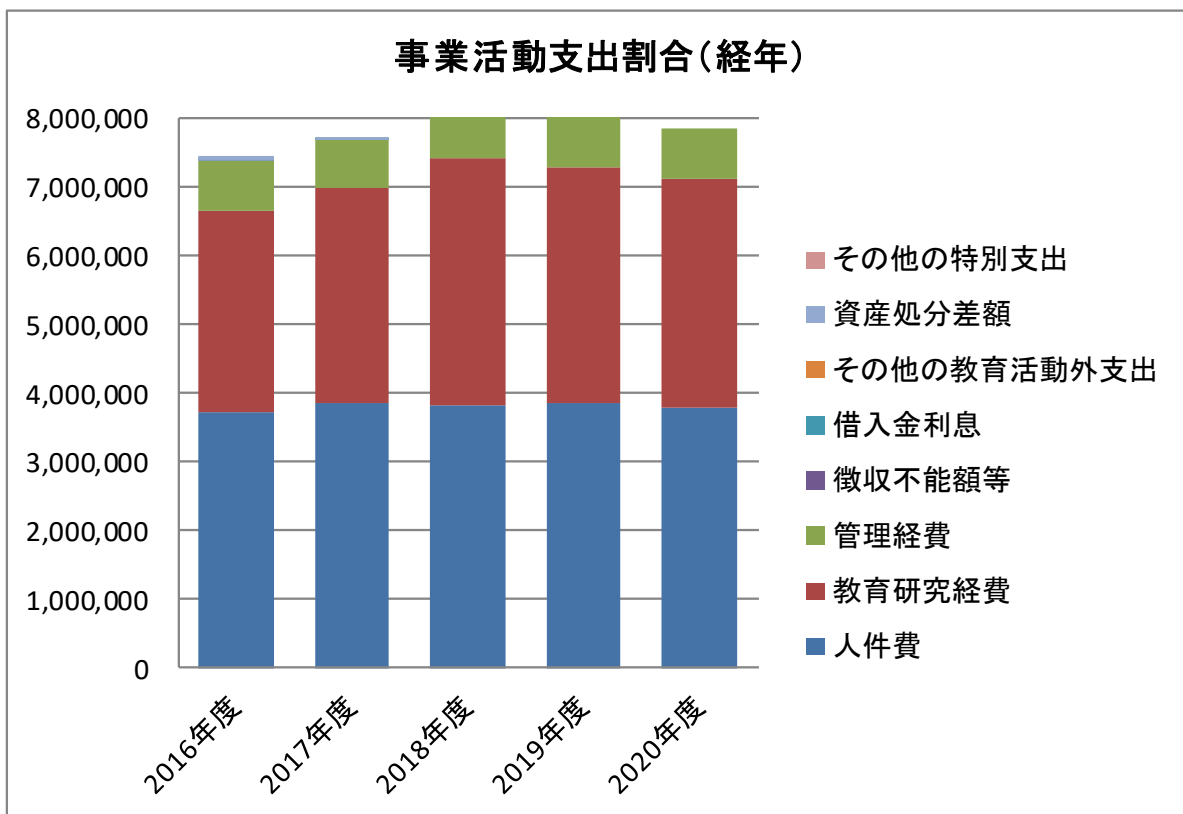
	科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
収入	学生生徒納付金収入	5,947,273	6,190,539	6,265,697	6,221,695	6,183,482
	手数料収入	191,157	189,550	202,274	193,143	200,852
	寄付金収入	29,711	36,229	28,086	55,537	31,819
	補助金収入	1,269,596	1,334,949	1,173,257	1,178,775	1,078,789
	資産売却収入	171,789	833,245	365,554	14,798	95,976
	付随事業・収益事業収入	24,821	23,121	22,737	23,926	7,828
	受取利息・配当金収入	155,953	214,728	189,478	172,669	145,107
	雑収入	227,995	266,396	279,023	769,178	296,774
	借入金等収入	1,500,000	1,500,000	0	0	0
	前受金収入	1,294,554	1,261,579	1,222,129	1,220,306	1,285,468
	その他の収入	3,027,532	4,684,447	1,573,627	1,182,458	1,290,992
	資金収入調整勘定	△ 1,475,554	△ 1,677,860	△ 1,498,099	△ 1,479,304	△ 1,538,354
	前年度繰越支払資金	2,734,708	3,290,860	3,339,069	2,872,413	2,907,466
	合計	15,099,538	18,147,783	13,162,832	12,425,594	11,986,202
支出	人件費支出	3,704,169	3,805,278	3,746,090	3,811,506	3,687,033
	教育研究経費支出	2,061,072	2,248,750	2,465,533	2,516,088	2,376,570
	管理経費支出	619,490	570,247	670,182	705,199	556,864
	借入金等利息支出	18,078	25,737	32,468	29,580	22,651
	借入金等返済支出	200,000	200,000	500,000	800,000	800,000
	施設関係支出	3,501,611	4,712,979	682,821	304,598	279,365
	設備関係支出	184,575	568,896	430,258	193,172	140,041
	資産運用支出	1,339,531	2,905,614	1,227,148	914,025	742,966
	その他の支出	465,847	450,848	837,319	504,589	410,281
	資金支出調整勘定	△ 285,696	△ 679,635	△ 301,400	△ 260,627	△ 446,494
	次年度繰越支払資金	6,339,106	△ 1,645,882	2,135,175	2,468,072	3,416,925
	合計	15,099,538	18,147,783	13,162,832	12,425,594	11,986,202

(2) 事業活動収支の状況

(単位：千円)

		科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	5,947,273	6,190,539	6,265,697	6,221,695	6,183,482
		手数料	191,157	189,550	202,274	193,143	200,852
		寄付金	20,770	20,065	25,587	45,258	30,249
		経常費等補助金	1,134,916	1,200,254	1,173,257	1,178,775	1,041,857
		付随事業収入	24,750	22,943	22,716	24,480	7,400
		雑収入	227,995	266,396	277,896	303,250	296,324
		教育活動収入計	7,546,861	7,889,747	7,967,427	7,966,601	7,760,164
	事業活動支出の部	人件費	3,737,077	3,865,427	3,821,582	3,857,670	3,772,937
		教育研究経費	2,909,783	3,124,417	3,593,943	3,437,711	3,363,692
		管理経費	734,805	684,465	848,418	810,562	705,910
		徴収不能額等	333	43	0	0	607
教育活動支出計		7,381,997	7,674,351	8,263,943	8,105,943	7,843,146	
教育活動収支差額			164,864	215,395	△ 296,516	△ 139,342	△ 82,982
教育活動外収支	収入の活動の部	受取利息・配当金	158,412	217,176	191,916	175,100	140,639
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	6,901
		教育活動外収入計	158,412	217,176	191,916	175,100	147,540
	支出の活動の部	借入金利息	18,078	25,737	32,468	29,580	22,651
		その他の教育活動外支出	0	0	0		
		教育活動外支出計	18,078	25,737	32,468	29,580	22,651
教育活動外収支差額			140,334	191,438	159,448	145,520	124,889
経常収支差額			305,198	406,834	△ 137,068	6,178	41,907
特別収支	収入の活動の部	資産売却差額	19	262,637	39,701	1,292	47,964
		その他の特別収入	148,867	156,468	6,497	483,600	44,836
		特別収入計	148,886	419,105	46,198	484,892	92,800
	支出の活動の部	資産処分差額	43,291	10,610	206,891	220,102	4,888
		その他の特別支出	0	0	0	349,834	49,500
		特別支出計	43,291	10,610	206,891	569,936	54,388
特別収支差額			105,595	408,494	△ 160,693	△ 85,044	38,412
〔予備費〕							
基本金組入前当年度収支差額			410,793	815,328	△ 297,761	△ 78,866	80,319
基本金組入額合計			△ 1,067,927	△ 1,117,949	△ 898,406	△ 1,050,505	△ 992,039
当年度収支差額			△ 657,134	△ 302,621	△ 1,196,167	△ 1,129,371	△ 911,720
前年度繰越収支差額			△ 5,456,144	△ 6,056,247	△ 6,358,868	△ 7,555,033	△ 8,684,404
基本金取崩額			57,031	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 6,113,277	△ 6,358,868	△ 7,555,035	△ 8,684,404	△ 9,596,124
(参考)							
事業活動収入計			7,854,159	8,526,027	8,205,541	8,626,593	8,000,506
事業活動支出計			7,443,366	7,710,699	8,503,302	8,705,459	7,920,187
事業活動収支差額			410,793	815,328	△ 297,761	△ 78,866	80,319
経常収入			7,705,273	8,106,923	8,159,343	8,141,701	7,907,704
経常支出			7,400,075	7,700,089	8,296,411	8,135,523	7,865,797
経常収支差額			305,198	406,834	△ 137,068	6,178	41,907





(3) 貸借対照表の状況

(単位：千円)

資産の部					
科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
固 定 資 産	33,399,940	35,539,915	35,223,892	34,493,303	32,600,539
有形固定資産	26,355,335	30,547,901	30,254,515	29,360,298	28,615,748
うち、土地	5,904,030	5,904,030	5,904,030	5,884,782	5,884,782
うち、建物	13,467,491	20,510,470	20,311,222	19,707,876	19,167,862
うち、構築物	1,218,378	1,358,710	1,230,713	1,123,934	1,044,999
うち、教育研究用機器備品	996,704	1,168,480	1,274,358	1,131,312	1,015,976
特定資産	6,311,980	4,347,806	4,336,283	4,451,152	3,333,183
その他の固定資産	732,625	644,208	633,094	681,853	651,608
流 動 資 産	5,820,470	6,211,401	5,370,769	5,245,947	6,759,823
うち、現金・預金	3,290,861	3,339,070	2,872,413	2,907,467	3,416,923
うち、有価証券	2,271,227	2,254,621	2,170,382	1,980,129	2,938,337
合 計	39,220,410	41,751,316	40,594,661	39,739,250	39,360,362

負債・基本金及び消費収支差額の部					
科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
負 債	5,214,845	6,930,422	6,071,528	5,294,980	4,835,774
固 定 負 債	3,350,529	4,410,678	3,686,169	2,932,333	2,218,236
うち、長期借入金	2,600,000	3,600,000	2,800,000	2,000,000	1,200,000
うち、退職給与引当金	750,529	810,678	886,169	932,333	1,018,236
流動負債	1,864,316	2,519,745	2,385,359	2,362,647	2,617,537
うち、前受金	1,294,554	1,261,579	1,222,129	1,220,306	1,285,468
基 本 金	40,061,812	41,179,762	42,078,168	43,128,673	44,120,713
第 1 号 基 本 金	37,371,812	40,689,762	41,588,168	42,638,673	43,630,713
第 2 号 基 本 金	2,200,000	0	0	0	0
第 3 号 基 本 金	0	0	0	0	0
第 4 号 基 本 金	490,000	490,000	490,000	490,000	490,000
消 費 収 支 差 額	△ 6,056,247	△ 6,358,868	△ 7,555,033	△ 8,684,404	△ 9,596,125
(何)年度消費支出準備金	0	0	0		
翌年度繰越し消費収入超過額又は △翌年度繰越し消費支出超過額	△ 6,056,247	△ 6,358,868	△ 7,555,033	△ 8,684,404	△ 9,596,125
合 計	39,220,410	41,751,316	40,594,663	39,739,247	39,360,362
減価償却額の累計額の合計額	13,238,460	13,834,485	14,111,842	15,320,989	16,302,568
基本金未組入額	2,848,595	4,407,753	3,631,585	2,846,386	2,021,289

(4)財務比率表

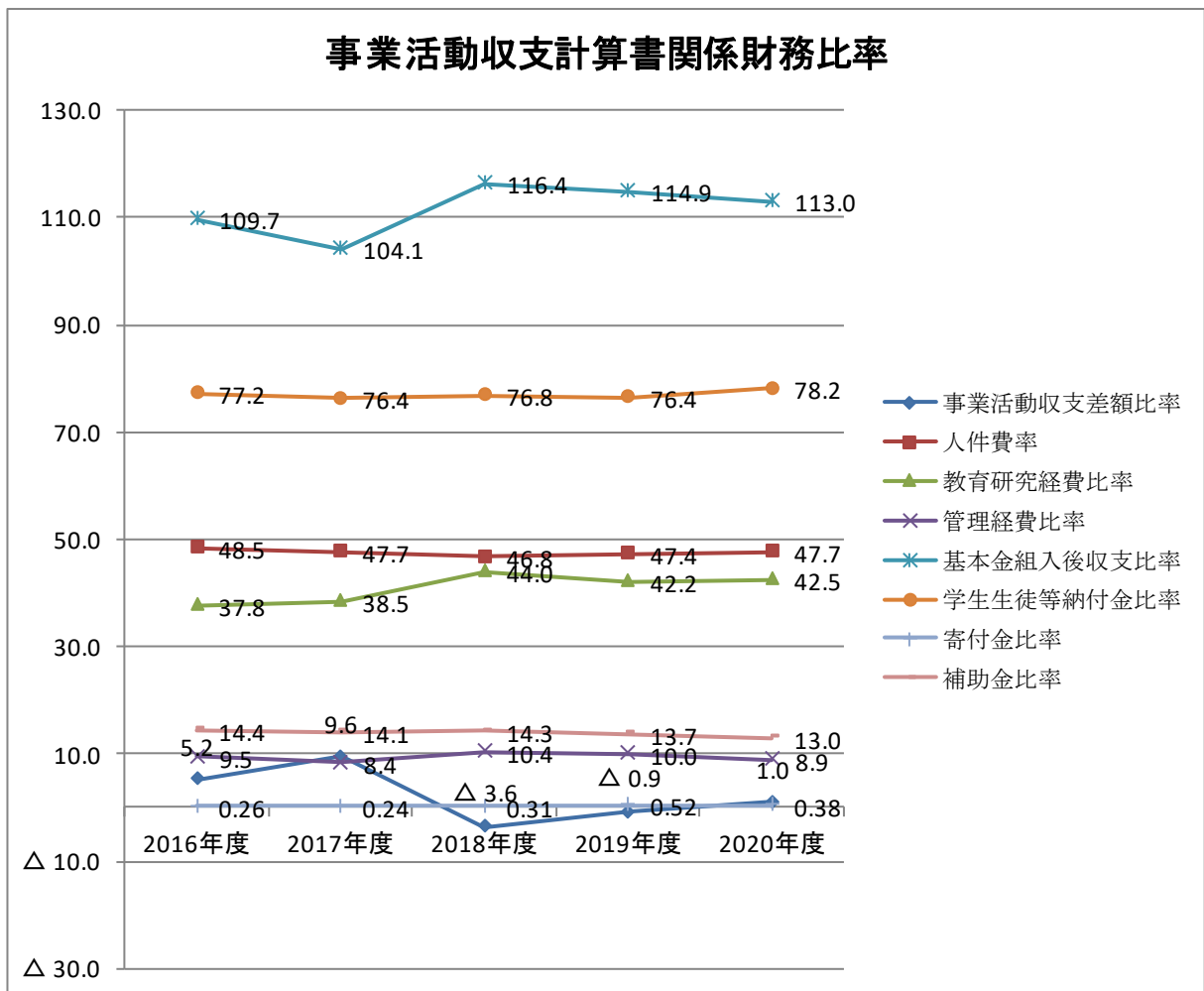
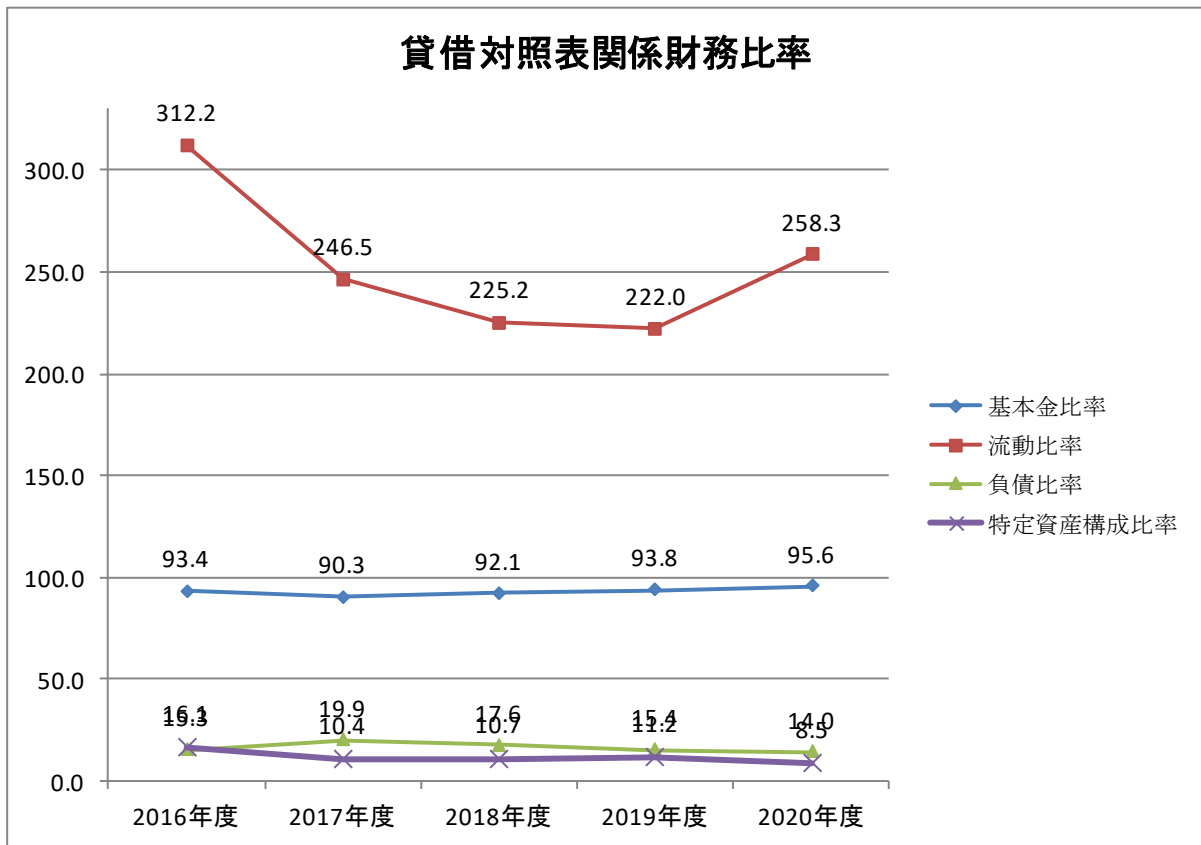
(単位:%)

貸借対照表関係比率

	比 率	評 価	算 式 (×100)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均
①	特定資産構成比率	△	特定資産/総資産	16.1	10.4	10.7	11.2	8.5	23.6
②	流動比率	▼	流動資産/流動負債	312.2	246.5	225.2	222.0	258.3	241.6
③	負債比率	▼	総負債/純資産	15.3	19.9	17.6	15.4	14.0	16.8
④	基本金比率	△	基本金/基本金要組入額	93.4	90.3	92.1	93.8	95.6	97.0

事業活動収支計算書関係比率

	比 率	評 価	算 式 (×100)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均
⑤	人件費率	▼	人件費/経常収入	48.5	47.7	46.8	47.4	47.7	48.7
⑥	教育研究経費比率	△	教育研究経費/経常収入	37.8	38.5	44.0	42.2	42.5	40.4
⑦	管理経費比率	△	管理経費/経常収入	9.5	8.4	10.4	10.0	8.9	7.0
⑧	事業活動収支差額比率	▼	基本金組入前当年度収支差額 /事業活動収入	5.2	9.6	△ 3.6	△ 0.9	1.0	3.8
⑨	基本金組入後収支比率	△	事業活動支出 /事業活動収入-基本金組入額	109.7	104.1	116.4	114.9	113.0	105.5
⑩	学生生徒等納付金比率		学生生徒等納付金/経常収入	77.2	76.4	76.8	76.4	78.2	51.0
⑪	寄付金比率	△	寄付金/事業活動収入	0.26	0.24	0.31	0.52	0.38	1.9
⑫	経常寄付金比率		教育活動収支の寄付金/経常収入	0.3	0.2	0.3	0.6	0.4	1.4
⑬	補助金比率	△	補助金/経常収入	14.4	14.1	14.3	13.7	13.0	9.2
⑭	経常補助金比率		教育活動収支の補助金/経常収入	14.7	14.8	14.4	14.5	13.2	8.9
⑮	基本金組入率	▼	基本金組入額/事業活動収入	13.6	13.1	10.9	12.2	12.4	8.8
⑯	経常収支差額比率		経常収支差額/経常収入	4.0	5.0	△ 1.7	0.1	0.5	3.6
⑰	教育活動収支差額比率		教育活動収支差額/教育活動収入計	2.2	2.7	△ 3.7	△ 1.7	△ 1.1	2.2



監査報告書

学校法人白鷗大学

理事長 上岡 條 二 殿

私たち監事は、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人白鷗大学寄附行為第 7 条の規定に基づき、学校法人白鷗大学の 2020 年度（2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで）における業務執行並びに財産の状況について監査を行いました。

その結果につき、本監査報告書を作成し、下記のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

私たち監事は監査に当たり、理事会及び評議員会、その他の重要な会議に出席するほか、理事等から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人（監査法人ナカチ）と連携し、主要な関係部署において業務および財産の状況を調査いたしました。

また、会計監査人から随時監査に関する報告を求め、計算書類及び付属明細書につき慎重に検討するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

2. 監査の結果

2020 年度学校法人白鷗大学の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表及び基本金明細表を含む。）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人会計基準（昭和 46 年文部省令第 18 号）にも準拠しております。

学校法人白鷗大学の 2021 年 3 月 31 日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。

学校法人白鷗大学の業務決定及び業務執行状況、財産に関する不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと確認いたしました。

2021 年 5 月 24 日

学校法人白鷗大学

監事

梁 晃 榮 一



監事

谷 本 正



基礎データ

(1) 入園・入学者数5ヵ年推移

学校名		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
白鷗大学	大学院	経営学研究科		0	0	1	1	1
				(20)	(20)	(20)	(20)	(20)
		法学研究科		2	2	4	3	5
			(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	
	合計		2	2	5	4	6	
			(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	
	学部	経営学部	経営学科	484	518	474	470	470
				(400)	(400)	(400)	(400)	(400)
		法学部	法律学科	333	319	316	305	313
				(270)	(270)	(270)	(270)	(270)
教育学部	発達科学科		523	498	497	496	500	
			(430)	(430)	(430)	(430)	(430)	
合計		1,340	1,335	1,287	1,271	1,283		
		(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)		
白鷗大学足利高等学校		608	432	400	412	438		
		(950)	(950)	(950)	(950)	(950)		
白鷗大学足利中学校		43	45	50	44	46		
		(120)	(120)	(120)	(120)	(120)		
白鷗大学はくおう幼稚園*		39	16	28	36	33		
		(40)	(40)	(40)	(40)	(40)		
総合計		2,032	1,830	1,770	1,767	1,806		
		(2,240)	(2,240)	(2,240)	(2,240)	(2,240)		

上段は入学者数、下段の()は入学定員数

*幼稚園は年少クラスの入園者数

(2) 2021年度志願者・合格者(大学)

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	合格者数	
経営学部	経営学科	400	1,982	919	
法学部	法律学科	270	1,239	659	
教育学部	発達科学科	430	2,373	1,168	
	内訳(専攻)	児童教育	220	1,190	559
		スポーツ健康	120	467	233
		英語教育	50	340	192
		心理学	40	376	184
計		1,100	5,594	2,746	

(3) 2020年度国際交流留学生実績(大学)

研修予定	変更
短期海外研修	*対面の研修は新型コロナウイルス感染拡大により中止した。
インディアナ大学研修	(短期海外研修)
ハワイ大学研修	協定校とのオンライン交流を実施
台湾研修	
国内研修	(国内英語研修)
英語研修	オンラインセミナー実施 参加者56名
経営学部海外留学プログラム	(経営学部海外留学プログラム)
ビクトリア大学	派遣先オンライン授業 参加者6名
タコマコミュニティカレッジ	

(4) 2020年度大学 進路データ

(2021年4月1日現在)

学部	学科・専攻	卒業者	就職希望者(a)			未就職者		就職率 %
			内定者 (b)	臨採ほか (c)	未定 (d)	進学 (大学院)	進学(その他) ・在宅ほか	
経営	経営	433	363	6	3	2	59	99.2%
法	法律	293	239	3	7	3	41	97.2%
教育	児童教育	255	198	38	1	3	15	99.6%
	スポーツ健康	115	70	34	0	2	9	100.0%
	英語教育	56	44	7	0	1	4	100.0%
	心理学	56	39	6	3	3	5	93.8%
合計		1,208	953	94	14	14	133	98.7%

就職率 = (b) + (c) / (a)

(5) 2021年度学生・生徒・幼児納付金

・大学

	2021年度生から	2020年度生まで		
	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	280,000			
授業料※	740,000	710,000	710,000	710,000
施設設備費	270,000	250,000	250,000	250,000
諸会費	17,000	17,000	17,000	52,000
計	1,307,000	977,000	977,000	1,012,000

※教育学部は、プラス40,000円となります。

・高等学校

	普通科(1年次)	普通科(2・3年次)
入学金	150,000	
学費	543,200	488,200
計	693,200	488,200

・中学校

	1年次	2・3年次
入学金	200,000	
学費	527,400	477,400
計	727,400	477,400

・幼稚園

	入園生	在園生
入園料	50,000	
保育料	280,800	280,800
計	330,800	280,800

・送迎の有無などにより増減あり。

・幼児教育無償化対象。

学校法人 白鷗大学

編集：経営企画部 経営企画課

発行：2021年5月